１　学習指導要領について、次の問いに答えなさい。

次の文は、「中学校学習指導要領（平成29年３月告示）第１章 総則　第１ 中学校教育の基本と教育課程の役割　２(3)」である。（　①　）～（　③　）に当てはまる語句を、ア～キから一つずつ選んで、記号で答えなさい。解答番号は①②③。

２(3) 学校における体育・健康に関する指導を，生徒の発達の段階を考慮して，学校の教育活動全体を通じて（　①　）に行うことにより，健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指した教育の充実に努めること。特に，学校における食育の推進並びに体力の向上に関する指導，安全に関する指導及び心身の健康の保持増進に関する指導については，保健体育科，技術・家庭科及び特別活動の時間はもとより，各教科，道徳科及び総合的な学習の時間などにおいてもそれぞれの（　②　）適切に行うよう努めること。また，それらの指導を通して，家庭や地域社会との連携を図りながら，日常生活において適切な体育・健康に関する活動の実践を促し，生涯を通じて健康・安全で（　③　）を送るための基礎が培われるよう配慮すること。

ア　総合的	イ　適切	ウ　一体的	エ　特質に応じて
オ　特色を生かして	カ　活力ある生活	キ　充実した生活	

２　学校保健安全法について、次の問いに答えなさい。

(1) 次の文は、「学校保健安全法第一条」である。（　④　）～（　⑥　）に当てはまる語句を、ア～クから一つずつ選んで、記号で答えなさい。解答番号は④⑤⑥。

（目的）

第一条　この法律は、学校における児童生徒等及び職員の健康の保持増進を図るため、学校における（　④　）に関し必要な事項を定めるとともに、学校における教育活動が安全な環境において実施され、児童生徒等の（　⑤　）が図られるよう、学校における安全管理に関し必要な事項を定め、もつて学校教育の（　⑥　）とその成果の確保に資することを目的とする。

ア　保健管理	イ　保健安全	ウ　教育	エ　適切な環境
オ　安全の確保	カ　健康増進	キ　円滑な実施	ク　組織的な推進

(2) 次の文は、「学校保健安全法第五条」である。（　a　）～（　d　）に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、ア～カから一つ選んで、記号で答えなさい。解答番号は⑦。

（学校保健計画の策定等）

第五条　学校においては、児童生徒等及び職員の心身の健康の保持増進を図るため、児童生徒等及び職員の健康診断、（　a　）、児童生徒等に対する指導その他（　b　）に関する事項について計画を（　c　）し、これを（　d　）しなければならない。

ア	a	環境衛生検査	b	保健指導	c	周知	d	実施
イ	a	健康相談	b	保健	c	策定	d	周知
ウ	a	環境衛生検査	b	保健	c	策定	d	実施
エ	a	健康相談	b	保健指導	c	周知	d	実施
オ	a	保健指導	b	健康相談	c	策定	d	周知
カ	a	環境衛生検査	b	健康相談	c	周知	d	実施

３　教室等の環境に係る学校環境衛生基準について、次の問いに答えなさい。

(1) 次の表は、学校環境衛生の検査項目に対する方法を示したものである。方法について、適切であるものを○、適切でないものを×とした場合、組合せとして正しいものをア～オから一つ（解答番号は⑧）、カ～コから一つ（解答番号は⑨）選んで、記号で答えなさい。

記号	検査項目	方法
a	換気	二酸化炭素は、検知管法により測定する。
b	温度	0.5度目盛の温度計を用いて測定する。
c	相対湿度	1.0度目盛の乾湿球温度計を用いて測定する。
d	一酸化炭素	ザルツマン法により測定する。
e	二酸化窒素	ジエチル－p－フェニレンジアミン（DPD）法により測定する。
f	揮発性有機化合物	揮発性有機化合物の採取は、教室等内の温度が低い時期に行い、吸引方式では30分間で２回以上、拡散方式では８時間以上行う。
g	ダニ又はダニアレルゲン	温度及び湿度が高い時期に、ダニの発生しやすい場所において１㎡を電気掃除機で１分間吸引し、ダニを捕集する。捕集したダニは、顕微鏡で計数するか、アレルゲンを抽出し、酵素免疫測定法によりアレルゲン量を測定する。
h	照度	教室以外の照度は、床上75㎝の垂直照度を測定する。なお、体育施設及び幼稚園等の照度は、それぞれの実態に即して測定する。
i	まぶしさ	見え方を妨害する光源、光沢の有無を調べる。
j	騒音レベル	児童生徒等がいる状態で、教室の窓側と廊下側で、窓を閉じたときと開けたときの等価騒音レベルを測定する。

ア	a ○	b ○	c ×	d ×	e ×
イ	a ○	b ×	c ○	d ○	e ○
ウ	a ○	b ○	c ○	d ×	e ×
エ	a ×	b ○	c ○	d ○	e ○
オ	a ×	b ○	c ×	d ×	e ○
カ	f ×	g ○	h ×	i ○	j ×
キ	f ○	g ○	h ×	i ○	j ×
ク	f ×	g ○	h ○	i ○	j ×
ケ	f ○	g ×	h ○	i ×	j ○
コ	f ×	g ×	h ×	i ○	j ○

(2) 次の文は、学校環境衛生の検査項目に対する方法について述べたものである。（　⑩　）～（　⑬　）に当てはまる語句を、ア～ケから一つずつ選んで、記号で答えなさい。解答番号は⑩⑪⑫⑬。

・換気、温度、相対湿度、一酸化炭素、二酸化窒素については、学校の授業中等に、各階１以上の教室等を選び、適当な場所（　⑩　）か所以上の机上の高さにおいて検査を行う。
・一酸化炭素及び二酸化窒素については、教室等において（　⑪　）を使用していない場合に限り、検査を省略することができる。
・ダニ又はダニアレルゲンについては、保健室の寝具、（　⑫　）の教室等において検査を行う。
・騒音レベルにおいて、測定結果が著しく基準値を下回る場合には、以後教室等の（　⑬　）環境に変化が認められない限り、次回からの検査を省略することができる。

ア	1	イ	2	ウ	3	エ	燃焼器具
オ	エアコン	カ	ガスストーブ	キ	カーペット敷	ク	内外の
ケ	周辺の						

(3) 次の文は、定期検査、日常点検及び臨時検査について述べたものである。正しいものを、ア～エから一つ選んで、記号で答えなさい。解答番号は⑭。

ア　検査の実施に当たっては、その内容により、学校薬剤師が自ら行う、学校薬剤師の指導助言の下に教職員が行う、又は学校薬剤師と相談の上で外部の検査機関に依頼することなどが考えられる。いずれの場合においても各学校における検査の実施については薬剤師の責任のもと、確実かつ適切に実施しなければならない。
イ　日常点検は、主として官能法によりその環境を点検し、その点検結果を定期検査や臨時検査に活用したり、必要に応じて事後措置を講じたりするためのものである。
ウ　新築、改築、改修等及び机、いす、コンピュータ等新たな学校用備品の搬入等により揮発性有機化合物の発生のおそれがあるとき、必ず臨時検査を行う。
エ　臨時検査を行う場合、日常検査に準じた方法で行う。

４　就学時の健康診断について、次の問いに答えなさい。

(1) 次の文は、「学校保健安全法第十一条」である。（　a　）～（　d　）に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、ア～キから一つ選んで記号で答えなさい。

解答番号は⑮。

（就学時の健康診断）

第十一条　市（特別区を含む。以下同じ。）町村の教育委員会は、（　a　）第（　b　）条第一項の規程により翌学年の初めから同項に規定する学校に（　c　）させるべき者で、当該市町村の区域内に（　d　）ものの（　c　）に当たつて、その健康診断を行わなければならない。

ア	a	教育基本法	b	十八	c	就学	d 居住する
イ	a	学校教育法	b	十八	c	入学	d 自宅を有する
ウ	a	学校教育法	b	十七	c	就学	d 住所を有する
エ	a	教育基本法	b	十九	c	入学	d 住所を有する
オ	a	学校教育法	b	十七	c	就学	d 居住する
カ	a	学校教育法	b	十八	c	就学	d 居住する
キ	a	教育基本法	b	十七	c	入学	d 住所を有する

(2) 次の文は、就学時の健康診断の目的について述べたものである。（　⑯　）～（　⑲　）に当てはまる語句を、ア～クから一つずつ選んで記号で答えなさい。

解答番号は⑯⑰⑱⑲。

・学校教育を受けるにあたり、幼児等の健康上の課題について保護者及び本人の認識と関心を深めること。
・疾病又は異常を有する就学予定者については、入学時までに必要な（　⑯　）をし、あるいは（　⑰　）を適正にする等により、健康な状態もしくは就学が可能となる心身の状態で入学するよう努めること。
・学校生活や日常生活に支障となるような疾病等の疑いのある者及び視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者、病弱者（身体虚弱者を含む。）、その他心身の疾病及び異常の疑いのある者を（　⑱　）し、適切な（　⑯　）の勧告、保健上の助言及び（　⑲　）等に結びつけること。

ア	診察	イ	生活規正	ウ	疾病管理	エ	検査
オ	治療	カ	健康相談	キ	就学支援	ク	スクリーニング

(3) 次の検査の項目のうち、「学校保健安全法施行令第二条」に定められていない検査の項目の組合せとして正しいものを、ア～クから一つ選んで記号で答えなさい。

解答番号は⑳。

a　身長及び体重　　b　栄養状態
c　脊柱及び胸郭の疾病及び異常の有無　　d　視力及び聴力
e　眼の疾患及び異常の有無　　f　耳鼻咽頭疾患及び皮膚疾患の有無
g　歯及び口腔の疾病及び異常の有無　　h　心臓の疾病及び異常の有無

ア　aとg　　イ　bとf　　ウ　cとd　　エ　aとh　　オ　eとg カ　cとh　　キ　bとd　　ク　aとe

(4) 次に示す「学校保健安全法施行規則」に規定される第１号様式（就学時健康診断票）の予防接種欄において、（　　）にあてはまる組合せとして、正しいものをア～コから一つ選んで記号で答えなさい。解答番号は㉑。

第1号様式(用紙　日本産業規格A4縦型)(第4条関係)

就　学　時　健　康　診　断　票

						健康診断年月日	
就学予定者	氏名		性別	男　女	保護者	氏名	
	生年月日	年　月　日生	年齢			現住所	
	現住所					就学予定者との関係	
主な既往症							
予防接種	（　　）（　　）B型肝炎 ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ　BCG 麻しん・風しん（第１期　第２期）　水痘　日本脳炎						

a　流行性耳下腺炎　　b　小児肺炎球菌　　c　髄膜炎菌
d　インフルエンザ菌ｂ型（Hib）　　e　RSウイルス

ア　aとb　　イ　aとc　　ウ　aとd　　エ　aとe　　オ　bとc カ　bとd　　キ　bとe　　ク　cとd　　ケ　cとe　　コ　dとe

(5) 次の文は、就学時の健康診断結果の活用について述べたものである。（　a　）～（　e　）に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、ア～キから一つ選んで記号で答えなさい。解答番号は㉒。

・市町村の教育委員会は、（　a　）第四条第二項により、翌学年の初めから十五日前までに、就学時健康診断票を就学時の健康診断を受けた者の（　b　）する学校の校長に送付しなければならない。「翌学年の初めから十五日前までに」とは、具体的には３月（　c　）日までである。
・就学時の健康診断の結果に基づき行った（　d　）や保健指導等の内容については、学校医や学校歯科医等と連携しながら、入学後の（　e　）に役立てる。

ア	a	学校保健安全法施行令	b	就学	c	17	d	就学指導	e 健康相談
イ	a	学校保健安全法施行規則	b	入学	c	16	d	就学指導	e 健康相談
ウ	a	学校保健安全法施行規則	b	登校	c	17	d	受診勧告	e 健康診断
エ	a	学校保健安全法施行令	b	入学	c	16	d	受診勧告	e 健康診断
オ	a	学校保健安全法施行規則	b	登校	c	17	d	受診勧告	e 保健教育
カ	a	学校保健安全法施行令	b	就学	c	16	d	就学指導	e 保健教育
キ	a	学校保健安全法施行令	b	入学	c	16	d	受診勧告	e 健康相談

(6) 次の文は、就学時の健康診断の事後措置について述べたものである。適切であるものを○、適切でないものを×とした場合、組合せとして正しいものを、ア～オから一つ選んで記号で答えなさい。解答番号は㉓。

a 就学時の健康診断の結果に基づき行う事後措置は、学校保健安全法施行規則第12条に規定されている。
b 発育が順調で心身に疾病または異常が見られない場合には、結果を保護者に通知する必要はない。
c 発育が順調でない者や、栄養状態で注意が必要である者で、全身の状況や保護者と幼児との様子から、児童虐待等が疑われる場合には、速やかに、児童相談所等に通告する必要がある。
d 就学時健康診断の結果、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者、病弱者、発達障害等の疑いがある場合には、市町村教育委員会は、就学時の健康診断を担当する部局と教育相談・就学支援を担当する部局との間で十分な連携を図り、適切な教育相談、就学支援を行う。

ア	a ○	b ○	c ○	d ×
イ	a ×	b ×	c ×	d ○
ウ	a ×	b ×	c ○	d ○
エ	a ○	b ○	c ×	d ○
オ	a ○	b ×	c ○	d ×

5　児童生徒等の健康診断のうち、歯及び口腔の疾病及び異常の有無に関する項目について、次の問いに答えなさい。

(1) 次の文章は、歯科検診前の準備について述べたものである。適切でないものを、ア～オから一つ選んで記号で答えなさい。解答番号は㉔。

ア　歯鏡は、鏡面に傷のない反射率の十分なもの、一定の大きさのものを使用する。
イ　使用した歯鏡の鏡面は唾液など汚れが付くので、十分に洗浄し、滅菌して使用する。
ウ　使用する探針は、先端が鋭利なものまたはWHOのCPIプローブを用いる。
エ　常に十分な照度をもったスポット照明器具を準備するなど、照明は、口腔内が500ルクス以上になる照度が望ましい。
オ　学校歯科医は、検査前にグローブを着用し、触診で病的な皮膚に触れた場合には、グローブを交換する。

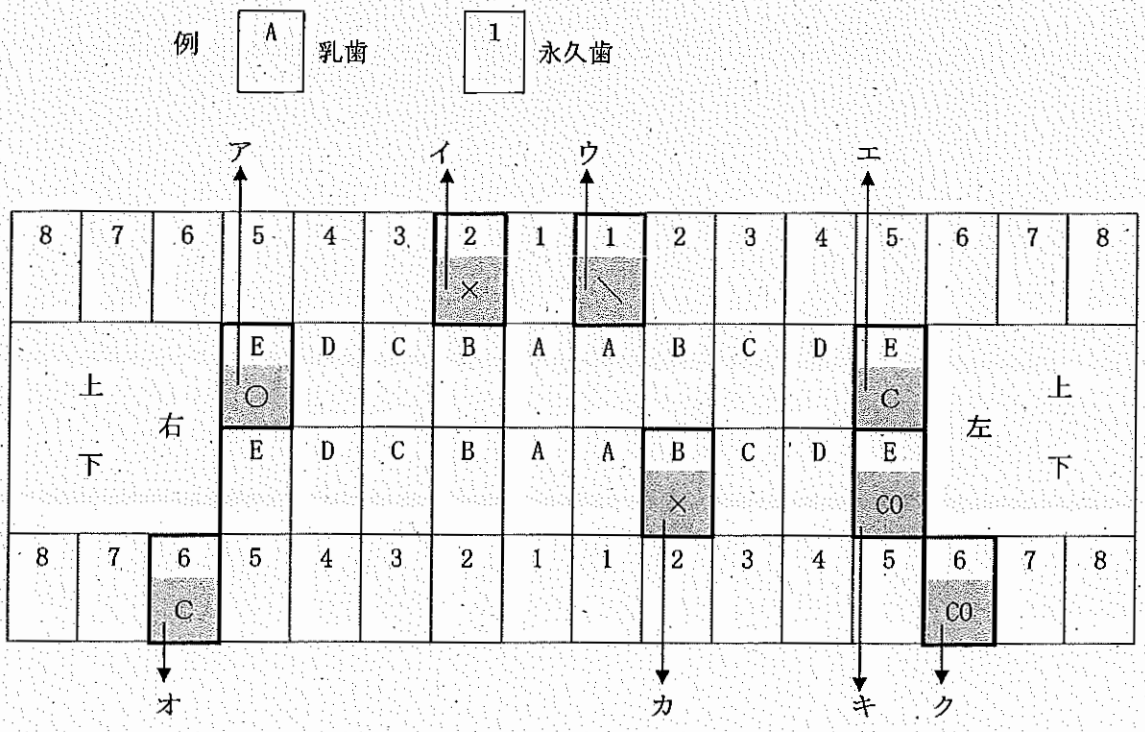
(2) 児童生徒健康診断票（歯及び口腔）に記入する記号について、（　㉕　）～（　㉗　）に当てはまるものを、ア～キから一つずつ選んで記号で答えなさい。解答番号は㉕㉖㉗。

・歯周疾患要観察者　（　㉕　）
・処置歯　（　㉖　）
・現在歯　（　㉗　）

ア　C　イ　△　ウ　○　エ　GO　オ　G　カ　CO　キ　＼、／、－

(3) 下の歯式に記載されている記号のうち、適切でないものを、ア～クから一つ選んで記号で答えなさい。解答番号は㉘。

【歯式】　＊歯式の上部に記載してあるアルファベットは乳歯、数字は永久歯を表す。



6　感染症について、次の問いに答えなさい。

(1) 次の文は、感染症の概要について述べたものである。（　㉙　）、（　㉚　）に当てはまる語句を、ア～キから一つずつ選んで、記号で答えなさい。解答番号は㉙㉚。

ウイルス、細菌、（　㉙　）等の微生物が、宿主の体内に侵入し、臓器や組織の中で増殖することを「感染」といい、その結果、生じる疾病が「感染症」である。

感染症が発生するには、その原因となる病原体の存在、病原体が宿主に伝播する感染経路、そして病原体の伝播を受けた宿主に（　㉚　）があることが必要となる。病原体、感染経路、（　㉚　）宿主の三つを、感染成立のための三大要因という。

ア	病原物	イ	原虫	ウ	感受性	エ	感度性	オ	抵抗性
カ	病因体	キ	真菌						

(2) 次の文は、けがや疾病の手当てを行う際のポイントについて述べたものである。適切でないものを、ア～オから一つ選んで、記号で答えなさい。解答番号は㉛。

ア　傷の処置をする者は、血液媒介感染症について知っておく。
イ　傷口の血液、浸出液、その他の体液（排泄物も含む）との接触を避けることで感染予防ができるので、手袋の着用が有効な手段となる。素手で処置を行うのは望ましくない。
ウ　処置に使用する器具は消毒・滅菌したものを使用する（使い回ししない）。
エ　希釈した消毒薬は、使わなければ直射日光を避けて保存し、翌日使用してもよい。
オ　同じ点眼薬を複数の児童生徒に使い回しすることは、点眼薬自体に細菌汚染が起こり、その点眼薬を介して細菌が感染する可能性があるので、可能な限り使い切りタイプ（１回用）を使用する。

(3) 次の文は、結核の概要について述べたものである。（　a　）～（　d　）に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、ア～カから一つ選んで、記号で答えなさい。解答番号は㉜。

・結核は、（　a　）によって発生する我が国の主要な感染症の一つである。
・（　a　）は主に肺の内部で増えるため、咳、痰、発熱、呼吸困難等、風邪のような症状を呈することが多いが、肺以外の臓器が冒されることもあり、腎臓、リンパ節、骨、脳など身体のあらゆる部分に影響が及ぶことがある。特に、（　b　）では症状が現れにくく、全身に及ぶ重篤な結核につながりやすいため、注意が必要である。
・感染経路は主として感染性の患者からの（　c　）感染である。喀痰の（　d　）検査で陽性の間は感染力が強い。

ア	a	結核ウイルス	b	成人	c	飛沫	d	培養	
イ	a	結核菌	b	小児	c	空気	d	塗抹	
ウ	a	結核菌	b	高齢者	c	飛沫	d	培養	
エ	a	結核ウイルス	b	成人	c	空気	d	塗抹	
オ	a	結核ウイルス	b	小児	c	接触	d	培養	
カ	a	結核菌	b	高齢者	c	接触	d	塗抹	

(4) 次の文は、結核の症状について述べたものである。適切であるものを○、適切でないものを×とした場合、組合せとして正しいものを、ア～カから一つ選んで、記号で答えなさい。解答番号は㉝。

a　結核の感染を受けたが発病しておらず、無症状であるものの、活動性結核への進展を防ぐための治療が必要な場合を原発性結核感染症という。
b　初感染に引き続き、肺病変や肺門リンパ節腫脹がみられ、初感染病巣から気管・気管支を通って他の肺の部分に広がり、病巣が形成されるものを肺結核という。
c　リンパ節等の病変が進行して菌が血液を介して散布されると、感染は全身に及び、肺では多数の小病変が生じ、乳幼児や免疫が低下した場合に多く見られる重症型を顆粒結核という。
d　結核菌が血行性に脳・脊髄を覆う髄膜に到達して発病する重症型を結核性髄膜炎という。

ア	a ○	b ○	c ×	d ○
イ	a ○	b ×	c ○	d ×
ウ	a ×	b ○	c ×	d ○
エ	a ×	b ○	c ×	d ×
オ	a ○	b ×	c ○	d ○
カ	a ×	b ×	c ○	d ×

(5) 次の文は、結核の有無に関する健康診断を実施する際の留意事項について述べたものである。適切であるものを○、適切でないものを×とした場合、組合せとして正しいものを、ア～キから一つ選んで、記号で答えなさい。解答番号は㉞。

a　問診票に記入漏れや不明な点があると、適切な選定が難しくなる可能性があるので、内科検診時に確認することが望まれる。
b　問診票で自覚症状について「はい」と答えた者については、ほか（医療機関の受診の有無やぜん息等との鑑別疾患の有無）の回答の確認と、学校医による検診が確実に行われるように留意する。
c　結核対策委員会の開催は義務ではなくなり、校長が直接精密検査の指示を行うことができるようになった。
d　海外の現地校からの編入の場合、健康に関する関係書類の送付のない場合もある。このような場合には、児童生徒からの聞き取りなどで十分健康情報を得るとともに、場合によっては学校医による健康診断の実施も必要である。
e　結核の有無の検査において、発病のおそれがあると診断された者については、おおむね３か月後に再度結核の有無の検査を行うことが規定されている。

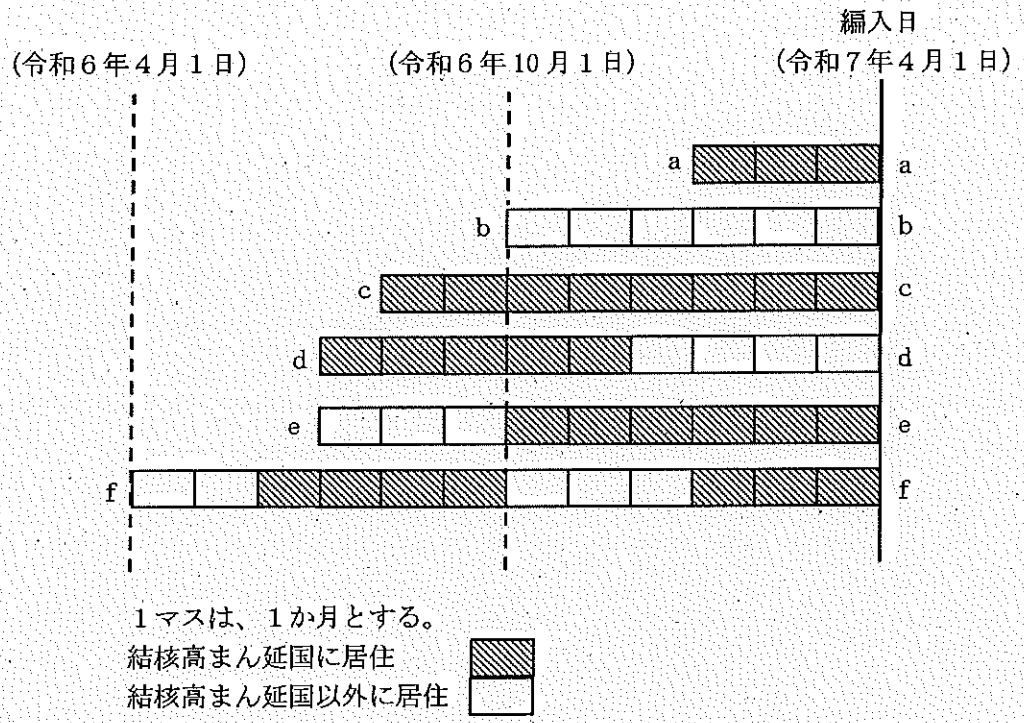
ア	a ×	b ○	c ×	d ×	e ×
イ	a ○	b ×	c ○	d ×	e ○
ウ	a ○	b ○	c ×	d ○	e ×
エ	a ○	b ×	c ○	d ×	e ×
オ	a ×	b ○	c ×	d ×	e ○
カ	a ○	b ○	c ○	d ○	e ○
キ	a ×	b ×	c ×	d ○	e ○

(6) 次の事例を読み、結核精密検査（胸部Ｘ線検査等）の対象者として正しいものを、ア～キから一つ選んで、記号で答えなさい。解答番号は㉟。

【事例】

Ａ小学校に令和７年４月１日に６名の児童が編入した。６名の児童は、過去３年以内に外国に住んでいたことがあるが、入国後の結核精密検査は行っていない。

６名の児童の海外居住歴は、以下のとおりである。



ア　ａとｃ	イ　ｂとｅ	ウ　ｃとｅ	エ　ｃとｅとｆ
オ　ｄとｅとｆ	カ　全員	キ　該当者なし	

(7) 次の文は、結核発生時の対応について述べたものである。適切であるものを○、適切でないものを×とした場合、組合せとして正しいものを、ア～キから一つ選んで、記号で答えなさい。解答番号は㊱。

a　結核が発生した場合には、診断した医師から直ちに保健所に届出が出され、保健所が感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（以下、感染症法とする。）に基づいて対策を行うこととなる。病状（感染性）に応じた対応を行うことになるので、学校は保健所と情報共有することが重要である。

b　学校で結核が発生した場合には、感染症法第十七条、学校保健安全法第十三条第二項に基づき、臨時の健康診断が検討されることとなる。

c　感染性のある結核患者と接触した者に対しては接触者健診が行われる。学校は、保健所で実施する健康診断等が円滑に進められるよう協力することが重要である。学校の設置者（教育委員会）、学校、学校医、保健所等が互いに報告・連絡・相談できる体制を整えておく。

d　麻しんと同様に、児童生徒等の保護者あるいは職員から「結核または結核の疑い」と連絡を受けた場合は、学校及び設置者は学校医等及び所管の保健所と迅速に連絡をとり、当該学校に在籍する児童生徒及び保護者に対して情報を提供する。

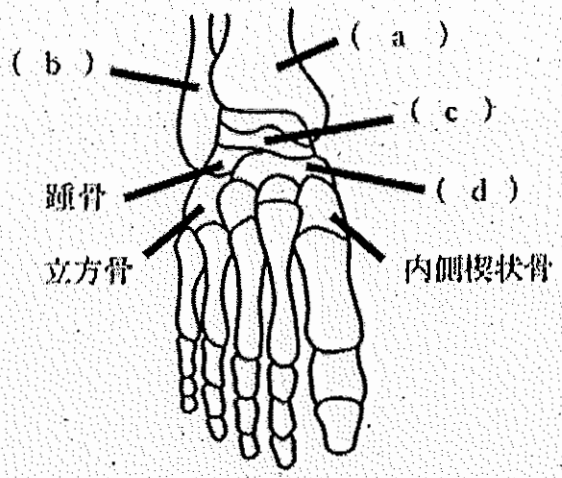
e　接触者健診の結果や状況に応じて、潜在性結核治療（予防投薬）やその後の１～２年間の経過観察等が行われる。保健所との情報共有を行い、学校の設置者（教育委員会）や学校ごとに対応方針の大きな差異が生じないように注意する。

ア	a ○	b ×	c ○	d ○	e ×
イ	a ×	b ○	c ×	d ○	e ×
ウ	a ○	b ○	c ○	d ×	e ×
エ	a ×	b ×	c ×	d ○	e ○
オ	a ○	b ×	c ○	d ×	e ×
カ	a ×	b ○	c ○	d ○	e ○
キ	a ○	b ○	c ○	d ×	e ○

7　人体構造及び救急処置について、次の問いに答えなさい。

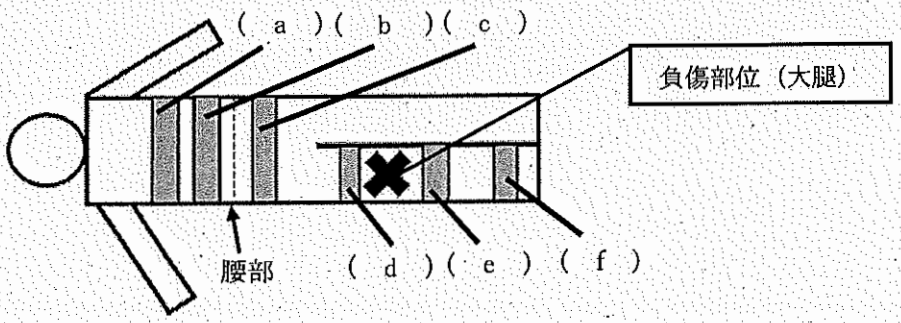
(1) 次の図は、下肢及び足首周辺の骨の図である。（ a ）～（ d ）に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、ア～カから一つ選んで、記号で答えなさい。

解答番号は㊲。



ア	a	脛骨	b	腓骨	c	距骨	d 舟状骨
イ	a	脛骨	b	尺骨	c	外脛骨	d 基足骨
ウ	a	脛骨	b	腓骨	c	舟状骨	d 距骨
エ	a	腓骨	b	脛骨	c	外脛骨	d 基足骨
オ	a	腓骨	b	脛骨	c	舟状骨	d 距骨
カ	a	尺骨	b	脛骨	c	距骨	d 舟状骨

(2) 次の図は、大腿骨の骨折の手当てについて示したものである。副子を固定する部位の順序について正しいものを、ア～オから一つ選んで、記号で答えなさい。解答番号は㊳。



ア	e	→	d	→	c	→	f	→	b	→ a
イ	d	→	e	→	f	→	c	→	b	→ a
ウ	c	→	e	→	d	→	f	→	a	→ b
エ	d	→	e	→	c	→	f	→	b	→ a
オ	e	→	d	→	f	→	c	→	a	→ b

(3) 次の文は、アキレス腱の断裂が疑われるときの症状や手当てについて述べたものである。適切でないものを、ア～オから一つ選んで、記号で答えなさい。解答番号は㊴。

ア　スポーツ中などに急に起こり、直ちに運動不能になり、つま先で立てない。
イ　アキレス腱の部分を押さえると痛みを訴える。
ウ　断裂した部分の皮膚表面が腫れているのが見てわかる。
エ　歩かせない。
オ　うつ伏せに寝かせて、副子の上に固定し、仰向けの場合であっても、つま先を伸ばした状態のまま医療機関に搬送する。

(4) 次の文は、頸椎損傷が疑われるときの手当てについて述べたものである。（　㊵　）～（　㊷　）に当てはまる語句を、ア～コから一つずつ選んで、記号で答えなさい。解答番号は㊵㊶㊷。

救助者は、傷病者の（　㊵　）に位置し、傷病者の（　㊶　）の左右に両手を当て、頭を保持して頸椎が動揺しないようにして、救急隊の到着を待つ。

やむを得ず傷病者を動かすときには、体全体を（　㊷　）の上に乗せて移動させるが、損傷をさらに悪化させる危険性が非常に高いので、危険が迫っていて、緊急に避難させる必要がある場合に限る。

ア　肩	イ　体側	ウ　耳	エ　柔らかい布	オ　頭頂側
カ　固い板	キ　首	ク　あご	ケ　額	コ　耳の横側

(5) 次の文は、傷病人を搬送する際の注意事項について述べたものである。正しいものを、ア～エから一つ選んで、記号で答えなさい。解答番号は㊸。

ア　傷病者の体を動かすときや運ぶときには、素早さを最も重視する。
イ　傷病者の観察は、搬送中には十分できないため、搬送後に必ず行えば、終始しなくてもよい。
ウ　２人以上で搬送する場合は、統一行動をとるため、必ずリーダーを決める。
エ　原則として、手当ては搬送した後に行う。

(6) 次の文は、傷病人を担架で搬送する方法について述べたものである。（　a　）～（　c　）に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、ア～オから一つ選んで、記号で答えなさい。解答番号は㊹。

・傷病者の（　a　）の方向に進み、傷病者に動揺を与えないように静かに歩く。
・階段を昇るときは、担架の水平を保つように注意を払いながら、傷病者の（　b　）を先にする。
・階段を降りるときは、担架の水平を保つように注意を払いながら、傷病者の（　c　）を先にする。

ア	a	頭	b	足	c	頭
イ	a	頭	b	頭	c	足
ウ	a	足	b	頭	c	頭
エ	a	足	b	頭	c	足
オ	a	足	b	足	c	足

8　脳脊髄液減少症について、次の問いに答えなさい。

次の文は、脳脊髄液減少症について述べたものである。適切でないものを、ア～オから一つ選んで、記号で答えなさい。解答番号は㊺。

ア　スポーツ外傷等の後に、脳脊髄液が漏れ出し減少することによって、起立性頭痛（立位によって増強する頭痛）などの頭痛、頚部痛、めまい、倦怠、不眠、記憶障害など様々な症状を呈する疾患である。
イ　硬膜外自家血注入（いわゆるブラッドパッチ）は、先進医療として実施しており、保険適用の対象外となるため、治療については医師と十分に相談する必要がある。
ウ　事故後の後遺症として通常の学校生活を送ることに支障が生じているにもかかわらず、まわりの人から単に怠慢である等の批判を受け、十分な理解を得られなかったことなどの事例がある。
エ　教職員等の理解を深めるとともに、必要に応じ、養護教諭を含む教職員等が連携しつつ、個々の児童生徒等の心身の状態に応じ、学習面を含め学校生活の様々な面で適切な配慮をしていくことが必要である。
オ　スポーツ外傷だけでなく、尻もちをついた場合などにも起こることがある。

9　薬物乱用防止教育について、次の問いに答えなさい。

(1)　次の文は、薬物乱用について述べたものである。適切でないものを、ア～オから一つ選んで、記号で答えなさい。解答番号は㊻。

ア　薬物とは、生体に対して何らかの身体的・精神的作用を示す化学物質の総称として使われる。
イ　麻薬や覚せい剤、大麻は、法でその使用自体が規制されていることから、その使用は、薬物乱用である。
ウ　薬物乱用とは、薬物を社会的許容から逸脱した目的や方法で自己使用することである。
エ　医薬品の用法（頻度を含む）や用量に関して、医師、薬剤師又は医薬品の説明文書の指示に従わないことも、指示に対する逸脱という点から薬物乱用である。
オ　どの薬物も、一度の逸脱した使用だけでは、乱用とは言えない。

(2) 次の文は、「第六次薬物乱用防止五か年戦略（令和５年８月）」の抜粋である。（　a　）～（　e　）に入る語句の組合せとして正しいものを、ア～オから一つ選んで、記号で答えなさい。解答番号は㊼。

・学校における薬物乱用防止教育は、小学校の体育科、中学校及び高等学校の保健体育科、（　a　）の時間はもとより、道徳、総合的な学習の時間等の学校の（　b　）全体を通じて指導が行われるよう引き続き周知を図る。
・薬物乱用防止教室は、（　c　）に位置付け、すべての中学校及び高等学校において年１回は開催するとともに、地域の実情に応じて小学校においても開催に努める。
・薬物等に関する専門知識を有する（　d　）、麻薬取締官、（　e　）、矯正施設職員、保健所職員、税関職員等が連携し、学校等における薬物乱用防止教室を充実強化する。

ア	a 学級活動	b 生活	c 学校安全計画	d 警察職員	e 登録販売者
イ	a 特別活動	b 教育活動	c 学校保健計画	d 警察職員	e 学校薬剤師
ウ	a 学校行事	b 教育活動	c 保健室経営計画	d 児童相談所職員	e 学校医
エ	a 特別活動	b 生活	c 学校保健計画	d 児童相談所職員	e 学校薬剤師
オ	a 学校行事	b 教育活動	c 学校安全計画	d 警察職員	e 学校薬剤師

(3) 次の文は、「中学校学習指導要領解説 保健体育編（平成 29 年７月） 第２章 各分野の目標及び内容 保健分野 ア知識 （エ）喫煙，飲酒，薬物乱用と健康」で示されている内容である。適切でないものを、ア～カから一つ選んで、記号で答えなさい。

解答番号は㊽。

ア　特に，未成年者の喫煙については，身体に大きな影響を及ぼし，ニコチンの作用などにより依存症になりやすいことを理解できるようにする。
イ　急激に大量の飲酒をすると急性中毒を起こし意識障害や死に至ることもあることを理解できるようにする。
ウ　薬物乱用については，覚せい剤や危険ドラッグを取り上げ，摂取によって幻覚を伴った激しい急性の錯乱状態や急死などを引き起こすこと，薬物の連用により依存症状が現れ，中断すると精神や身体に苦痛を感じるようになるなど様々な障害が起きることを理解できるようにする。
エ　薬物乱用は，個人の心身の健全な発育や人格の形成を阻害するだけでなく，社会への適応能力や責任感の発達を妨げるため，暴力，非行，犯罪など家庭・学校・地域社会にも深刻な影響を及ぼすこともあることを理解できるようにする。
オ　喫煙，飲酒，薬物乱用などの行為は，好奇心，なげやりな気持ち，過度のストレスなどの心理状態，断りにくい人間関係，宣伝・広告や入手し易さなどの社会環境によって助長されること，それらに適切に対処する必要があることを理解できるようにする。
カ　体育分野との関連を図る観点から、フェアなプレイに反するドーピングの健康への影響についても触れるようにする。

(4)　次の文は、「生徒指導提要（令和４年 12 月）6.5.1（３）薬物乱用」の抜粋である。（　a　）～（　d　）に入る語句の組合せとして正しいものを、ア～オから一つ選んで、記号で答えなさい。解答番号は㊾。

薬物乱用は、従来、青少年による（　a　）の乱用が大きな問題となっていましたが、検挙者は近年ほとんど見られていません。一方で（　b　）の 20 歳未満の者の検挙者数は平成 25 年以降増加が続いています。また、10 代においては、（　c　）の乱用が問題視されています。（　b　）の使用経験のある中学生は、使用経験のない中学生に比べ、学校で孤立していたり、家庭でのコミュニケーションが十分に取れていなかったりする可能性が指摘されています。児童生徒が、学校や家庭で孤立していないか、十分に注意しながら（　d　）よう努めることが求められます。

ア	a	有機溶剤（シンナー等）	b	危険ドラッグ	c	一般用医療品	d 指導する
イ	a	危険ドラッグ	b	大麻	c	覚せい剤	d 指導する
ウ	a	大麻	b	覚せい剤	c	危険ドラッグ	d 異変に気付く
エ	a	有機溶剤（シンナー等）	b	大麻	c	一般用医療品	d 異変に気付く
オ	a	覚せい剤	b	大麻	c	危険ドラッグ	d 指導する

(5)　次の文は、医薬品などについて説明したものである。適切であるものを○、適切でないものを×とした場合、組合せとして正しいものをア～オから一つ選んで、記号で答えなさい。解答番号は㊿。

a　医薬品は、有効性や安全性、品質について専門機関で審査され、製造・販売することを国が承認している。

b　サプリメントは一般に、特定成分が濃縮された錠剤やカプセル形態の製品のことを指し、医薬品として国から承認されている。

c　エナジードリンクと称される清涼飲料水は、カフェインやアルギニンなどの成分が通常よりも多く含まれ、その興奮作用により活力が出るような印象を持たせたもので、「保健機能食品」ではない。

d　カフェインは、一日摂取許容量（ヒトがある物質を一生涯にわたって毎日摂取し続けても健康に悪影響がないと推定される一日あたりの摂取量のこと）の指標値が設定されている。

e　カフェインには中枢神経を興奮させて体を活発化させる作用があるため、頭がすっきりしたり、眠気を覚ましたりといった効果が期待できるが、多量に摂取すると身体への有害な影響が現れる。

ア	a ○	b ×	c ○	d ×	e ○
イ	a ×	b ×	c ○	d ×	e ○
ウ	a ○	b ○	c ×	d ○	e ×
エ	a ×	b ○	c ×	d ○	e ×
オ	a ○	b ×	c ×	d ○	e ○

受験番号	

氏名	公開用解答

令8　養護教員

設問		解答番号	解答	配点
1		1	イ	2
		2	エ	2
		3	カ	2
2	(1)	4	ア	2
		5	オ	2
		6	キ	2
	(2)	7	ウ	2
3	(1)	8	ア	2
		9	カ	2
	(2)	10	ア	2
		11	エ	2
		12	キ	2
		13	ク	2
	(3)	14	イ	2
4	(1)	15	ウ	2
	(2)	16	オ	2
		17	イ	2
		18	ク	2
		19	キ	2
	(3)	20	エ	2
	(4)	21	カ	2
	(5)	22	エ	2
	(6)	23	ウ	2
5	(1)	24	ウ	2
	(2)	25	エ	2

設問		解答番号	解答	配点
5	(2)	26	ウ	2
		27	キ	2
	(3)	28	イ	2
6	(1)	29	キ	2
		30	ウ	2
	(2)	31	エ	2
	(3)	32	イ	2
	(4)	33	ウ	2
	(5)	34	ア	2
	(6)	35	エ	2
	(7)	36	キ	2
7	(1)	37	ア	2
	(2)	38	イ	2
	(3)	39	ウ	2
	(4)	40	オ	2
		41	ク	2
		42	カ	2
	(5)	43	ウ	2
	(6)	44	エ	2
8		45	イ	2
9	(1)	46	オ	2
	(2)	47	イ	2
	(3)	48	ウ	2
	(4)	49	エ	2
	(5)	50	ア	2